

敬老乗車証制度の改悪反対!!

2005年に負担金制度が導入されて、交付率が5割を切りました。それを、申請制度をなくし、全員に何枚かの無料券を配り、それがなくなれば1回100円程度の負担制度に変える計画です。無料券の枚数も1回の金額も、まだ決まっていません。

2万2千人以上の署名が議会に届けられ、多くの市民のみなさんから「市民の宝」「せめて今のままで残してほしい」との声が上がっています。「今の制度を残すべき」と質しました。京都市は「負担金なくなり、無料乗車券もある。負担増とは考えていない」と市民の願いに耳を貸そうとはしない答弁でした。敬老乗車証制度を守るためにがんばります。



市民の願い 実現を!

南部クリーンセンターに展望台・ トラブル続きのバイオガス施設は要らない!

南部クリーンセンターに2億5千万円で建設予定の展望台。財源は家庭ごみ袋代の収益です。約7割が純利益です。こんなムダ遣いをするのなら、袋代の値下げをすべきです。



京都市が参考にした越ヶ谷クリーンセンターの展望台

また、2年間で他都市では39回ものトラブルを起こしている欠陥施設（バイオガス施設）に30億円をつぎ込む計画です。このままでは、焼却灰溶融施設の二の舞になりかねません。どちらも中止すべきです。

日本共産党 京都市会議員

西野さち子

URL <http://nishino-sathiko.jp/> ✉ shikai@nishino-sathiko.jp



地域で奮闘
みなさんとともに
がんばっています



通学費の負担軽減を!

伏見区は遠距離通学をしている中学生が多い地域です。桃山中学校では、約半数の生徒が京阪電車などで通学しています。定期代が高く、保護者負担は大変です。一方、東山の小中一貫校では、新たな市バス路線をつくり、無料の定期券を小・中学生に交付しています。

同じ京都市の生徒で義務教育ですから、同じ条件で通学の保障を求め続けています。改善を求め続けています。

火災予防条例の改正に「修正案」を提案

今議会に「火災予防条例の一部改正」が提案されました。日本共産党市会議員団は放火による火災の予防で、「市民の責務」の項を削除するとの修正案を提案しましたが、否決されました。

市民の責務には「夜間に、屋外の照明を点灯すること。その他、屋外を放火の抑止上有効な明るさに保つ措置を講じること」「放火による火災を抑制し、又は早期に発見するための機器を設置すること」等があります。

努力義務とはいえ、市民の負担増とならないよう、がんばります。

どんなお困りごとでもお寄せ下さい! ➡

伏見生活相談所 TEL.621-6717
日本共産党伏見地区委員会 TEL.611-9135